

2 図書館事業

1) 気軽にいつでも気持ちよく利用できる図書館

<目標・取組み概要>

高齢化社会や高度情報化社会、近年の社会情勢に的確に対応すると共に、市民ニーズに即した図書館行政を推進します。

1 図書館運営

すべての市民に気軽にいつでも、気持ちよく利用される図書館を目指します。

2 図書館協議会

協議会を開催し、市民目線からの図書館運営に関する意見をいただきます。

<自己評価>

1 ブックポストがどこにあるか知らない方に、各公民館、保健センター、文化会館にあることをご案内しました。また、守谷駅にもブックポストを設置して欲しいとの要望については、駅周辺施設の活用の中で設置できないか検討しています。

2 図書館協議会（3回／年）を開催し、市民目線からの意見をいただきました。また、11月16日には、市民一人当たり貸出冊数が日本一となった笠間市立笠間図書館を視察し、貸出しを伸ばすにはどうしたら良いか事業の参考とすることができました。

3 図書館協議会から指定管理者制度の導入に関して、現時点では、導入に反対する旨の答申を受け、導入に関するデータなどを収集しました。

<今後の課題と対応方向>

1 開館時間の延長の要望については、以前に試行したところ利用が少なかったことや夜間に図書館周辺が暗く子どもたちの帰宅の際に安全が懸念されることなどから実施していませんが、今後の検討課題とします。

2 指定管理者制度の導入については導入のメリット、デメリットなどを引き続き検討します。

<外部の方々から頂いた意見>

- ・中央図書館の開館時間を長くして欲しい。
- ・指定管理者制度の導入については、慎重に検討すべきです。
- ・ブックポストを、駅周辺に設置して欲しいと思います。

2) 図書館機能の強化とサービスの充実

<目標・取組み概要>

市民の知的要求を満たすため、図書館機能の強化とサービスの充実を図ります。

1 市民が必要に応じて、情報を図書館で容易に得ることができるよう、多様な資料や情

報の収集、整理を行います。

- 2 各種視聴覚資料の収集、整理を行います。
- 3 子どもから大人までだれでも利用できる身近な公共施設として気軽に利用できるよう利用者の動向、欲求を的確に把握し、開かれた図書館運営を目指していきます。
- 4 他の社会教育施設や学校の図書室と連携しながら、読書活動の推進を図ります。
- 5 図書館システムの効率的運営を進めていきます。
- 6 図書館サービス充実のため他の図書館と協力、連携に努めます。

<自己評価>

- 1 市民1人当たり500円の資料費を確保し、資料の充実に努め、市民からも豊富な資料と良質なサービス提供により、利用しやすい図書館として評価をいただきました。
 - ・障害者への宅配サービスとして、茨城県立点字図書館などから資料を借受けて貸出しを行いました。また、ボランティアの協力により、広報紙や議会だよりなどの録音テープや点字資料を作成していただき利用者に提供しました。
 - ・古くなった資料などをリサイクルブックフェアで有料もしくは無料配布を行い有効活用しました。
- 2 利用や要望が多いDVDやCDなどの視聴覚資料の充実に努めました。
- 3 保健センターと連携し、3・4ヶ月検診時にブックスタート事業を行い、絵本の無料配布（2冊／1人）や図書利用カード登録などにより、図書館の利用促進をすることができました。
 - ・読み聞かせボランティアによるおはなし会を毎月5回程度開催し、子どもたちに、読書に親しんでいただけるようきっかけ作りを行いました。
 - ・本の修理ボランティアでは、12名の方にご協力いただき、絵本を中心に年間2,500冊を越える本の修理を行って頂くなど、市民と協働の図書館づくりを進めることができました。水曜班、木曜班、金曜班それぞれ別々に活動していましたが、連絡組織「ボランティアメイト」が発足し、自主的に活動しています。
- 4 守谷市子ども読書活動推進計画では、平成20年度に中学校4校、平成21年度に小学校9校のデータベース化を完了することができました。データベースを活用することにより、資料の検索機能が向上するとともに相互貸借などが可能になり、小中学校にある蔵書の有効活用を図っています。
 - ・小中学校へのブックトーク（学校を訪問し、優良書の紹介などを行う）をとおして、読書活動の推進を行いました。
- 5 平成22年5月で図書館システムのリース期限がきたことから、新旧システムの入替えをスムーズに行うことができました。
- 6 リクエストされた本の中で図書館が所蔵していない本を、他の図書館との相互協力により借り受けて提供し、他の図書館から貸出しの依頼を受けた本の貸出しを行いました。

<今後の課題と対応方向>

- 1 図書資料は、リクエストにおいて、市民のニーズを把握し、限られた資料費を有効に

活用します。また、他の公共図書館等と相互貸借などで協力し、市民の要望に応えます。

- 2 守谷市子ども読書活動推進計画を平成 23 年度策定するに当たり、内容を検討いたします。
- 3 雑誌のスポンサー制度を取り入れている図書館の資料を集め、実施を検討してまいります。

<外部の方々から頂いた意見>

- ・図書館は、専門知識を持った質の高い職員を配置し、市民に様々な情報を提供するレファレンスサービスなどに力をいれていく必要がある。
- ・学校図書室を充実して欲しい。
- ・就業支援のコーナーなどを作って欲しい。
- ・雑誌のスポンサー制度を取り入れて欲しい。

3) 施設・設備の安全

<目標・取組み概要>

だれにでも使いやすい図書館を目指し、施設環境の整備、充実に努めていきます。

<自己評価>

- 1 視聴覚室の機材を、新しく購入し利用者が最新の視聴覚機材を利用できるようにしました。
- 2 空調設備「スクリュウ圧縮機・オイルポンプ」の分解整備を行い、利用者に快適にご利用いただきました。
- 3 児童フロアの窓にゴーヤのグリーンカーテンを設置し、環境に配慮した空間を提供することができました。

<今後の課題と対応方向>

- 1 建設から16年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。施設の改修を計画的に行うことにより、利用者への影響を最小限にするよう努めます。

<外部の方々から頂いた意見>

- ・トイレを改修して欲しい。